

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	近畿測量専門学校
設置者名	学校法人創真総合技術学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	情報測量学科(2年制)	夜・通信	165 時間	160 時間	
	測量専門学科(1年制)	夜・通信	90 時間	80 時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ https://www.kinsoku.ac.jp/disclosure.html
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	近畿測量専門学校
設置者名	学校法人創真総合技術学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ <https://www.kinsoku.ac.jp/disclosure.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	ホテル運営会社勤務 (2001年8月1日～)	2009年4月 5日から 2025年度定 時評議員会 終結の時	教育内容に関する 確認・指導
非常勤	コンサルティング会社 経営(2010年4月1日 ～)	2022年4月 5日から 2025年度定 時評議員会 終結の時	運営体制の法的確 認・指導
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	近畿測量専門学校
設置者名	学校法人創真総合技術学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
測量専門学科 (1 年制)、情報測量学科 (2 年制)	
【作成に係る取組み】 授業計画書については、国土地理院の方針に基づいたプログラムを毎年学内で会議を開いた上で決定している。 【公表に係る取組み】 授業計画書はダイレクトクラウド(校内情報システム)にて4月上旬に学生に公開している。	
授業計画書の公表方法	https://www.kinsoku.ac.jp/disclosure.html
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
全科目において100点満点で評価し、60点以上で単位取得とする。評価方法としては①出席率・授業態度等②筆記試験③課題・レポート等④演習・実習成果等の4項目で点数配分は各科目ごとに異なる。	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 各科目の成績評価は、試験の結果、通常の受講態度及び出席状況を加味し決定する。ただし、実習科目の成績評価は、受講時間数及び提出すべき実習課題の学習及び成果により決定する。 各科目の成績基準は、以下のとおりとする。ただし、成績評価において不可の場合は単位未了を示す。 「秀」 100～95 (GP4.5)、「優」 94～80 (GP3)、「良」 79～70 (GP2)、「可」 69～60 (GP1)、「不可」 59 以下 (GP0) GPA は以下のとおりとする。 1. 各科目の成績評価に基づき GP (Grade Point) を定める。 2. GPA (Grade Point Average) は次の式により、小数第 3 位を四捨五入して小数第 2 位まで求めるものとする。 $GPA = \frac{\sum(\text{履修科目の獲得 GP} \times \text{履修科目の単位数})}{\sum(\text{提供科目の単位数})}$ 3. 成績評価が不可であった科目を再履修し、成績評価が秀、優、良又は可となった場合、その科目の GP は成績評価にかかわらず 1.0 とする。	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	https://www.kinsoku.ac.jp/disclosure.html
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 全授業時間数の 9 割以上受講し、そして専門科目と専門実習科目の全て履修し、全単位の 9 割以上を取得した者は卒業を許可する。 毎年 2 月に卒業判定会議を開き校長及び全教授により認定する。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://www.kinsoku.ac.jp/disclosure.html

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	近畿測量専門学校
設置者名	学校法人創真総合技術学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.kinsoku.ac.jp/disclosure.html
収支計算書又は損益計算書	https://www.kinsoku.ac.jp/disclosure.html
財産目録	https://www.kinsoku.ac.jp/disclosure.html
事業報告書	https://www.kinsoku.ac.jp/disclosure.html
監事による監査報告（書）	https://www.kinsoku.ac.jp/disclosure.html

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
工業		工業専門	測量専門学科（1年制）					
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
1年	昼	1485 単位時間／単位	855 単位時間 ／単位	210 単位時間 ／単位	420 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	
			単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数	
70人		20人	0人	4人	18人		22人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画書（シラバス）については、校長・教授・教員・講師で協議のうえ作成し、4月上旬にダイレクトクラウド（学内システム）にて公開する。 各授業計画書（シラバス）には以下の内容を記載する。 ・授業内容 ・到達目標 ・授業方法 ・授業スケジュールや授業回数 ・成績評価の方法・基準
成績評価の基準・方法
（概要） 各科目の成績は①出席率・授業態度等 ②筆記試験 ③課題・レポート等 ④演習・実習成果等の4項目で評価する。点数配分は各科目ごとに異なる。 ただし、実習科目の成績評価は、受講時間数及び提出すべき実習課題の学習及び成果により決定する。 各科目の成績基準は、以下のとおりとする。ただし、成績評価において不可の場合は単位未了を示す。 「秀」100～95、「優」94～80、「良」79～70、「可」69～60、「不可」59以下

卒業・進級の認定基準
(概要) 全授業時間数の9割以上受講し、そして専門科目と専門実習科目の全て履修し、全単位の9割以上を取得した者が卒業もしくは進級となる。 毎年2月に卒業・進級判定会議を開き校長及び全教授により認定する。
学修支援等
(概要) 毎月開催の全体会議において、学生の出欠状況等を共有し、問題のある学生については担任が本人と面談を実施、必要に応じて保護者とも連絡を取りサポートをする。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
測量専門学科（1年制）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
18人 (100%)	0人 (0%)	18人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 株式会社日本インシーク、株式会社国際データプロダクションセンター ほか			
(就職指導内容) 履歴書の添削、模擬面接の実施等。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 測量士補			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状 測量専門学科（1年制）		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
20人	0人	0%
(中途退学の主な理由) ※2名は成績不良による留年。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による学生状況の把握と必要に応じて保護者や出身校との連携。 毎月の教職員会議において、学生の欠席状況を共有。		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
工業		工業専門	情報測量学科（2年制）		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2340 単位時間／単位	1095 単位時間 ／単位	630 単位時間 ／単位	615 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		40人	0人	4人	18人	22人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画書（シラバス）については、校長・教授・教員・講師で協議のうえ作成し、4月上旬にダイレクトクラウド（学内システム）にて公開する。 各授業計画書（シラバス）には以下の内容を記載する。 ・授業内容 ・到達目標 ・授業方法 ・授業スケジュールや授業回数 ・成績評価の方法・基準
成績評価の基準・方法
（概要） 各科目の成績は①出席率・授業態度等 ②筆記試験 ③課題・レポート等 ④演習・実習成果等の4項目で評価する。点数配分は各科目ごとに異なる。 ただし、実習科目の成績評価は、受講時間数及び提出すべき実習課題の学習及び成果により決定する。 各科目の成績基準は、以下のとおりとする。ただし、成績評価において不可の場合は単位未了を示す。 「秀」100～95、「優」94～80、「良」79～70、「可」69～60、「不可」59以下
卒業・進級の認定基準
（概要） 全授業時間数の9割以上受講し、そして専門科目と専門実習科目の全て履修し、全単位の9割以上を取得した者が卒業もしくは進級となる。 毎年2月に卒業・進級判定会議を開き校長及び全教授により認定する。
学修支援等
（概要） 毎月開催の全体会議において、学生の出欠状況等を共有し、問題のある学生については担任が本人と面談を実施、必要に応じて保護者とも連絡を取りサポートをする。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

情報測量学科（2年制）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
17人 (100%)	人 (%)	16人 (94.1%)	1人 (5.9%)
（主な就職、業界等） 株式会社パスコ、アジア航測株式会社 ほか			
（就職指導内容） 履歴書の添削、模擬面接の実施等。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 測量士補			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状 情報測量学科（2年制）		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
46人	6人	13.0%
（中途退学の主な理由） 成績不良、進路変更、病気		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任による学生状況の把握と必要に応じて保護者や出身校との連携。 毎月の教職員会議において、学生の欠席状況を共有。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
測量専門学科（1年制）	200,000円	800,000円	350,000円	
情報測量学科（2年制）	200,000円	770,000円	350,000円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.kinsoku.ac.jp/disclosure.html		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
自己評価結果をもとに、卒業生・業界団体・教育関係者等で構成された学校関係者評価委員会によって各学科の教育内容等を評価している。委員会には教職員もオブザーバーとして出席しており次年度以降の学校運営の参考としている。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社和田測量設計事務所 代表取締役	2024. 11. 1～2026. 3. 31	卒業生
日本測量協会関西支部長	2024. 11. 1～2026. 3. 31	業界団体
大阪土地家屋調査士会長	2024. 11. 1～2026. 3. 31	業界団体
都島高等学校教諭	2024. 11. 1～2026. 3. 31	教育関係者
金谷登記測量 代表	2024. 11. 1～2026. 3. 31	保護者
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.kinsoku.ac.jp/disclosure.html		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.kinsoku.ac.jp
--